

特集《対談》 — ものづくりの担い手から 現場の声を聞きました—



柏崎市議会だより

ギカイの



No.188 令和4(2022)年5月5日

今回の表紙

柏崎青年工業クラブの皆さん

ものづくりの現場から柏崎市の未来を考えます。
(場所 市役所)

もくじ

■ 特集《対談 柏崎青年工業クラブ》	P2・3
■ 税金の使い道が決まりました、 賛否一覧	P4～8
■ こんなことが決まりました	P9
■ 常任委員会審査報告	P10・11
■ 一般質問、ギカイのうごき	P12～16
■ 今年度の議会活動の方針	P17
■ 会派で政務活動を行いました	P18・19
■ 6月定例会議日程 ほか	P20



特集

《対談》

柏崎青年工業クラブ

〈ものづくりの担い手から現場の声を聞きました〉

工業クラブで育む人の絆が 柏崎の基幹産業を支える



令和3（2021）年度〔第49期〕役員のみなさん

柏崎青年工業クラブとは？

- 柏崎青年工業クラブは、柏崎地域の製造業の未来を担う若手集団です。今年、創立50周年を迎えました。
- 自主的な活動を通して自己の開発を図り、また、明日の柏崎の工業界の姿を探りつつ、経済的地位の改善向上を目指そうとしています。
- 子どもたちに、将来ものづくりに携わってもらいたいという壮大な夢もあります。

今までの活動で印象に残っていることは？

- 35周年事業で製作したエアトレインを使って、市民との交流ができたことです。
- 新潟工科大学で開催したこども工業まつり（40周年事業）の工作教室で、子どもたちにもものづくりの現場に触れてもらうことができました。

- 工業人ゴルフ大会はOB会員と交流する良い機会になっていて、横だけでなく縦のつながりも深めることができました。



40周年事業・こども工業まつりのエアトレイン
(35周年製作)

柏崎のものづくり産業における共通課題は？

- 人材確保全般です。特に若手の育成は難しく、2・3年で離職するケースもあります。
- 女性にも生産現場で活躍してほしいのですが、製造業というだけで敬遠されます。
- 重い物を持つ作業はそもそも危険を伴うので、そのような負荷を軽減して、男女問わず働きやすい職場づくりも必要だと思います。

創立50周年事業の主な内容は？

- ぎおん柏崎まつりに工業人みこしを出して、花火も打ち上げる予定です。
- 9月には、アルフォーレで柏崎工業フェスティバル（仮称）を2日間にわたって開催します。動画制作・発信、こうじょうマルシェ、工作教室、講演会など幅広い世代に楽しんでもいただける内容を考えています。
- ほかに、式典（10月）や記念誌の発行など、50年を振り返る事業を予定しています。

今後の柏崎青年工業クラブの在り方は？

- 肩肘張らず、緩い枠組みの中で自由に活動できるスタイルを受け継いでいきたいです。
- 今までどおり横のつながりを大切に、若い経営者がふさぎ込むことのない環境を保つことが必要です。酒席での雑談があってこそ信頼関係ですね（笑）。
- まもなく卒業ですが、この関係は一生ものです。入会してよかったです。

最後に、議会に望むことは？

- Uターン人材の採用活動への支援を後押ししてほしいです。手厚い支援のある他市と差が付いてしまいます。
- 産業界の若手リーダーと議員との交流ができればいいと思います。



30周年事業・子ども工業まつり



40周年事業・子ども工業まつりの工作教室



令和元（2019）年ぎおん柏崎まつりの工業人みこし



ありがとうございました。

取材

三宮直人、星野幸彦
田邊優香、白川正志

税金の使い道が決まりました

～ 令和4(2022)年度予算案を全て可決～



● 合計当初予算額
825億5854万9千円

● 一般会計予算
481億円

● 特別会計予算
193億9919万8千円

● 公営企業会計予算
150億5935万1千円

内
訳

令和4(2022)年度予算案と施政方針演説に対して、3月2日の本会議において7つの会派が代表質問を行いました。主な質問項目は、5ページのとおりです。

予算決算常任委員会での審査については、6・7ページをご覧ください。

3月25日の本会議において、4人の議員が会派を代表して討論しました。採決の結果、一般会計予算は賛成多数で、その他の予算は全会一致で可決されました。議員の賛否状況は7ページ、一般会計予算案に対する討論要旨は8ページをご覧ください。



区 分		令和4(2022)年度	令和3(2021)年度	増減率
一般会計		481億円	475億円	1.3%
特別会計	国民健康保険事業	88億691万4千円	87億1469万円	1.1%
	後期高齢者医療	10億4499万3千円	10億1427万2千円	3.0%
	介護保険	94億3575万9千円	94億4294万2千円	△0.1%
	土地取得事業	1億289万9千円	1億1889万円	△13.5%
	墓園事業	863万3千円	885万6千円	△2.5%
公営企業会計	水道事業	63億3437万7千円	56億6956万8千円	11.7%
	下水道事業	87億2497万4千円	90億6537万3千円	△3.8%

代表質問で問う

【市長の施政方針と令和4(2022)年度予算】

民友



佐藤和典

- ① 持続可能な行政を目指すために
 - ・新潟県核燃料税の配分に対する考え
- ② 安心な生活を守るための市政運営
 - ・産業構造変革への挑戦と道筋
 - ・拉致問題解決に向けた市の対応
 - ・市民一丸となった新型コロナウイルス感染症への対応

公明党



若井恵子

- ① 新型コロナウイルス感染症対策と令和4(2022)年度の行政経営
- ② 令和4(2022)年度当初予算と地域経済産業
- ③ 地域エネルギー会社と2035年カーボンニュートラル
 - ・地域エネルギー会社と柏崎市の行財政運営

柏盛クラブ



三宮直人



重野正毅

- ① デジタル人材の人材像
 - ・人材像を育成するための課題は何か
- ② 子どもを取り巻く環境の充実
 - ・子どもの貧困対策

自治研究会



布施 学

- ① 令和4(2022)年度の市政に対する考えとイノベーションの推進
- ② 防災・生活・環境～「頼もしさ」をつなぐまちを目指すこと
- ③ 産業・雇用～「豊かさ」をつなぐこと
- ④ 教育・スポーツ～「たくましさ」をつなぐこと

社会クラブ・柏崎のみらい連合



飯塚寿之

- 施政方針について
- ・新年度予算と人口減少に向かう柏崎市の予算規模
 - ・新型コロナウイルスワクチンの子どもへの接種
 - ・コミュニティセンター、小・中学校など公共施設の統廃合と今後の財政運営

代表質問は、市長の施政方針や令和4(2022)年度の市政執行の全般的なことについて、会派の代表者が市長に対して、その方針や考え方を質問するものです。

なお、代表質問の詳細については、市議会ホームページをご覧ください。

代表質問の映像は
コチラ



代表質問の全項目は
コチラ



日本共産党柏崎市議員団



持田繁義

- ① 市民の意向と施政方針の関連
- ② DX(デジタル・トランスフォーメーション)の推進と課題
- ③ 人権教育・啓発推進計画の取り組み
- ④ 拉致被害の解決へ向けた取り組み
- ⑤ 柏崎刈羽原子力発電所に向き合う姿勢

柏崎の風

- ① 危機感
- ② 人口減少対策
- ③ 柏崎の将来像
- ④ 女性が活躍できる社会
- ⑤ 産業支援
- ⑥ 観光支援



阿部 基



上森 茜



山本博文



令和4(2022)年度予算案の 予算決算常任委員会での審査について報告します

3月7日の全体会で総括質疑を、3月11日から18日までの分科会で詳細な審査を行いました。
3月23日の全体会において採決した結果、全ての会計について可決すべきものと決しました。

総務分科会

■分科会長 阿部 基 ■副分科会長 布施 学
■委員 星野幸彦・三宮直人・飯塚寿之・佐藤和典・若井恵子・星野正仁

「地域活性化」に注目して審査しました

審査のポイント

地域おこし協力隊制度を地域活性化につなげる仕組みが整っているか。

主な対象事業

- 地域おこし協力隊活用事業 (200万1000円)
- 地域おこし協力隊活動経費 (2175万9000円)
- 地域おこし協力隊定住定着支援事業 (142万円)
- 地域間交流事業 (61万円)

主な質疑

- Q 新たに活動する地域おこし協力隊員の状況、定住者への環境整備は整っているか。
- A 令和4年度に新たに募集する地区は、別俣

と石黒の2地区で各1人ずつを予定。任期終了後の定住希望者に家賃補助と起業・事業承継補助を予定している。

- Q 定住定着支援事業の対象人数や内容は。
- A 定住賃貸住宅支援補助金は3人分を計上。起業・事業承継支援補助金は、起業に関心のある隊員1人分を予定している。



地域おこし協力隊の活動の様子

文教厚生分科会

■分科会長 重野正毅 ■副分科会長 白川正志
■委員 笠原晴彦・近藤由香里・樋口良子・荒城彦一・上森 茜・春川敏浩

「新型コロナウイルス感染症生活支援」に注目して審査しました

審査のポイント

公平性に問題はないか、市民の安全・安心が確保されるものとなっているか。

主な対象事業

- 新型コロナウイルス感染症生活支援事業 (506万円)

主な質疑


- Q 食料支援に切り替えた理由は。
- A 感染者は自宅療養が中心となったため、食料支援の方が効果的と判断した。
- Q 事業の内容は。
- A 感染者および同居家族の1週間分の食料品

や生活物資を運送業者が玄関前に届ける。

- Q 何人分を計上したか。期間を決めての支援策か。
- A 400人分を計上しているが、状況を見て補正も考えている。令和4年度はこの支援策で進める。





 委員会の録画映像は **YouTube** で
見ることができます



審査した議案は
コチラ

産業建設分科会

■分科会長 山本博文 ■副分科会長 田邊優香
■委員 村田幸多朗・秋間一英・持田繁義・佐藤正典・相澤宗一・柄沢均

新規事業と拡充された事業に注目して審査しました

対象事業

- ・事業構造強化促進事業（1億5400万円）
- ・製造業戦略的イノベーション推進基金積立金（2億2200万円）

主な質疑

Q 増額理由と事業の詳細は。

A 新たな補助金と基金の創設によるもの。市内の製造業を対象とし、新分野展開や事業転換、業態転換を図る事業者に対し5件分の支援を予定している。

対象事業

- ・ぎおん柏崎まつり事業（4314万4000円）

主な質疑

Q 増額理由と事業の詳細は。

A 増額は感染症対策や「新しい花火デザイン

募集」企画の花火打ち上げなどの費用。社会情勢を勘案し4月末には開催の可否を決定したい。

対象事業

- ・住まい快適リフォーム事業（5660万円）

主な質疑

Q 見込み件数は。

A 前年度比20件増の290件を見込んでいる。

対象事業

- ・鶴川左岸第5雨水調整池整備工事（6億8400万円）

主な質疑


Q 進捗状況は。

A 市街地治水対策全体計画のとおり、若干の遅れはあるが進捗は図られている。

私たちは



賛成 × 反対 しました

議決された議案などは
コチラ 



議員賛否一覧（2月定例会議の採決において賛否が分かれた議案など）

議決日	議案	布施学	村田幸多朗	笠原晴彦	秋間一英	星野幸彦	重野正毅	三宮直人	近藤田香里	田邊優香	白川正志	山本博文	持田繁義	樋口良子	佐藤正典	飯塚寿之	荒城彦一	相澤宗一	佐藤和典	若井恵子	柄沢均	上森茜	春川敏浩	星野正仁	阿部基	真貝維義	
2月24日	令和3(2021)年度一般会計補正予算(第25号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
3月25日	令和4(2022)年度一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	欠(疾病)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
3月25日	高齢基礎年金等の抜本的な改善を求める意見書(案)	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	-	

○は賛成 ×は反対 欠は欠席 真貝維義議長は採決に加わりません。



録画映像

私たちはこのような理由で

賛成しました



反対しました

日本共産党柏崎市議員団

反対

- ①子育て支援を重点戦略としているが、疑問だ。経済負担軽減のための財政運営の工夫が不十分だ。
- ②地域エネルギー会社の設立・運営が不透明。利潤を追求する株式会社の社長と市長の職務を両立できるのか、不透明だ。
- ③女性活躍推進事業は、男女共同参画事業との連携が重要だ。女性の活躍、職制としての位置づけを強める必要があるが、まだ弱い。
- ④市長の原発に向き合う姿勢に問題。条件付き再稼働を容認する状況ではない。廃炉の覚悟を求めるべきだ。



持田繁義

柏崎の風

賛成

「子どもを取り巻く環境の充実」、「大変革期を乗り越える産業イノベーションの推進」について強く進める意思が予算編成に表れている。「こどもまんなか」社会の推進、新分野展開など事業構造改革を行う事業者の背中を押すことができる取り組みと判断し、大きな評価とともに期待する。大変革期へ対応し、どこよりも早く前へ踏み出す柏崎市の前途が考慮され、将来にわたり持続可能なまちづくりを目指した予算編成であり、新型コロナウイルス感染症対策事業、人材育成・確保に関する事業を考慮した予算編成であると判断し、賛成する。



柄沢 均

社会クラブ・柏崎のみらい連合

賛成

学区等審議会において、今後さまざまな地域での統合案を審議されることになる。対象地域はそれぞれ条件が違う。保護者、地域の方、特に子どもたちの意見表明の場があるのか。子どもの権利をきちんと確保してほしい。教職員の意見も同様である。慎重な審議を望む。

新型コロナウイルス感染症に関わることでマンパワー不足により、教職員が疲弊することのないよう要望する。

児童・生徒の学びの意欲、市民の生涯の学びの意欲が高まるよう教育環境の整備に期待する。



笠原晴彦

民友

賛成

- 3つの意見を付し賛成する。
- ①若者や働く者に対する支援策が高く評価でき、施策を通して地域の活力を担う人材育成・確保につなげていただきたい。
 - ②現在の柏崎市の産業構造からすれば、新たな産業構造変換・創出に力を入れることは、背水の陣を構える企業にとって最善の施策と評価する。
 - ③後期基本計画の重点戦略に対し、手厚く配分されている。特に基金創設はまさに市長の危機感を表すとともに、危機の分散化を図り、スピード感を持ちながらも平準化を図った配分だと評価する。



佐藤和典



こんなことが 決まりました



2月定例会議 議案審議

Pick up

1

安心して産み、育てられるように、サポートが受けられます

◎産後ケア事業 510万9000円

令和4（2022）年度から産婦健康診査を公費助成するほか、新たに宿泊型の産後ケア事業が始まりました。出産後の回復や育児などに不安のある産婦が、退院後に子どもと一緒に病院に宿泊して、心身のケアや育児サポートなど、きめ細かい支援を受けることができるようになりました。



Pick up

2

米山の魅力を満喫できる施設整備に向けて調査が行われます

◎登山道遊歩道整備事業 742万4000円

米山の登山道周辺において、トイレや更衣室を備えたバス駐車場を整備するための調査が行われます。また、登山道や米山山頂施設の維持管理・修繕が行われます。



Pick up

3

消防団員の報酬が増額されました

◎消防団員報酬 6159万7000円

令和4（2022）年度から、消防団員に支払う年額報酬と出勤報酬が増額されました。地域に密着し、地域の安全・安心に貢献している消防団員の処遇改善を図るものです。

議決した議案はコチラ



令和4(2022)年2月定例会議常任委員会での審査について 報告します

総務常任委員会

■委員長 阿部 基 ■副委員長 布施 学
■委員 星野幸彦・三宮直人・飯塚寿之・佐藤和典・若井恵子・星野正仁

5件の議案と1件の請願を審査しました。

・脱炭素エネルギー利活用の促進に関する条例

事業の概要

脱炭素エネルギーの利活用の促進に関し、市の責務を明らかにし、基本的な事項を定めることにより、持続可能なカーボンニュートラル社会の構築および脱炭素のまちの実現に寄与する。

主な質疑

Q 太陽光など脱炭素エネルギーは、農林水産業など幅広い分野に関わるが、市の取り組みは。

A カーボンニュートラルの実現に向けて、特定の部署だけでなく、市役所全体で取り組みたい。

Q 地域エネルギー会社の設立により、今の電気料金より安くなるのか。

A まず市の公共施設に電力を供給することから始め、市役所の電気料金の5%を削減する試算で事業を想定している。地域エネルギー会社と契約することで、電気料金を下げることが目指している。

文教厚生常任委員会

■委員長 重野正毅 ■副委員長 白川正志
■委員 笠原晴彦・近藤由香里・樋口良子・荒城彦一・上森 茜・春川敏浩

1件の議案を審査しました。質疑はありませんでした。

・妊産婦及び子どもの医療費助成に関する条例の一部を改正する条例

事業の概要

令和4年4月から医療費助成（通院分）の対象年齢を18歳（高校卒業年度末）までに拡充する。

産業建設常任委員会

■委員長 山本博文 ■副委員長 田邊優香
■委員 村田幸多朗・秋間一英・持田繁義・佐藤正典・相澤宗一・柄沢 均

5件の議案を審査しました。

・高柳産業福祉会館設置及び管理に関する条例を廃止する条例

事業の概要

令和3年度をもって高柳産業福祉会館設置及び管理に関する条例を廃止する。

主な質疑

Q 高柳産業福祉会館に入ってる高柳町商工会事務所の今後の扱いは。

A 高柳町商工会は令和5年度に他の商工会と統合予定である。商工会事務所の移転先を探したが見つからないため、高柳産業福祉

会館は廃止するが、令和5年度末まで商工会事務所の使用は可能。



高柳産業福祉会館の外観